

# 大震災の教訓を無視する 井戸知事

## 借り上げ 公営住宅から被災者追い出し

井戸知事は、阪神・淡路大震災の被災者向け「借り上げ復興住宅」がURとの借り上げ期限20年を迎えるとして、約1800戸のうち、85歳以上の高齢者、重度の要介護・障害者、これに準ずる人のいる世帯のみ継続入居を認め、それ以外の約1000世帯に他の住宅への転居を迫っています。

### 日本共産党は 希望する世帯はすべて継続入居を

やっと築かれた「人と人とのつながり」、コミュニティを破壊し、被災者に新たな生活苦を押しつける「終のすみか」からの追い出しは認められません。日本共産党は被災者と力を合わせ、希望する世帯がすべて継続入居できるようがんばります。

## 県立こども病院 災害に弱い人工島への移転

井戸知事は、「大震災の教訓を忘れてはならない」といいながら、神戸市須磨区の高台にある県立こども病院のポートアイランドへの移転を強引に進めています。南海トラフの大地震、大津波に備えて対策が進められている中、液状化など危険が想定される場所への移転に医師会など広範な県民が反対しているのは当然です。

### 日本共産党は 安全な場所での建て替えを

現在地も含めた安全な場所での建て替え、母子周産期医療充実のため最後まで取り組みます。



▲こども病院連絡会がのべ5万筆余りの署名を提出

## 2013年度 予算

# くらしをあたためる予算に!

## 県民の声実現へ 予算の組み替え提案

日本共産党  
県会議員団

総額3兆2000億円余の2013年度予算案、条例案などが審議された2月定例県議会(2/19~3/25)。日本共産党県議団は、県民の皆さんから寄せられた声を実現するため本会議や各委員会で質問、奮闘しました。その一端をご報告します。



経済対策

賃金アップが景気回復のカギ  
— 知事、経済界に賃上げ要請を約束 —

労働者の賃金が下がり続け、デフレ不況が続く中、井戸知事の予算案は、高速道路など公共事業3割増し、企業立地補助金は16億円の内、パナソニック1社に10億円支出など相変わらず公共事業と大手企業よびこみ中心の経済対策となっています。

日本共産党は、景気回復のカギとなる「賃上げ」を知事自ら県経済界に要請すべきと迫り、公共事業は生活密着型に変え、住宅リフォーム助成制度の導入など地元業者の仕事確保対策を求めました。知事は経済界に「賃上げ」を働きかけることと答弁しました。



福祉

在宅介護支援、ショートステイの整備充実を早急に

国の社会保障予算の削減によって介護施設の建設が抑えられ、在宅での介護が増え続ける中、家族の介護負担の軽減や緊急の場合などに必要な短期入所施設・ショートステイの整備拡充が切実に求められています。

日本共産党は、兵庫県のショートステイの整備率が全国30位と大きく遅れ、ほとんど空きがない実態を示し、早急に増設を進めるよう質問。県は、現3カ年計画で788床増設し、合計で5166床になるが空きがないので、今後現場実態をふまえて支援計画に心がけていくと答弁しました。



再生エネルギー

原発ゼロ、太陽光発電設備補助の復活を

井戸知事は、原発依存を前提にした「エネルギー源のベストミックス」を定めるエネルギー基本計画「策定を国に要望し、大飯原発も「新安全基準に基づく再審査」を求め、再稼動を認める方向です。新年度からは、太陽光発電設備補助も廃止しました。

日本共産党は、宝塚市が昨年から新エネルギー課を設置し、太陽光発電など市民と共同で促進している例や宍粟市のバイオマスの取り

組みなどを示し、県としてきつぱりと原発へ転換し、再生可能エネルギー導入の目標と計画を作り市町を支援するよう求めました。知事は、今年6月頃を目途に計画を取りまとめる意向を示しました。

▼自然エネルギー促進のため調査南あわじ市



### 削って生み出された一般財源 80億円 を活用

2013年度予算組み替え案 主な増額の内容	
福祉・医療・教育	中3までの医療費無料化…52億円
	母子・父子家庭医療費…6.3億円
国保・後期高齢者	35人学級を小学校5年…7億円
	国民健康保険、後期高齢者医療制度…4.7億円
地震・減災	住宅、保育所や私立学校の耐震化…1億円
再生エネルギー	住宅用太陽光発電設備設置補助の復活…2億円
地域経済	住宅リフォーム、バリアフリー…3.5億円
	私立高校授業料軽減、私学助成増額…1.2億円
	障がい者の医療費助成「行革」前に…5.3億円

新たな借金を316億円へらす

### ムダや問題のあるものを削る

- パナソニック等への企業立地補助金16億円
- 但馬空港や、神戸空港、関西国際空港への補助出資等8.8億円
- 環境面でも問題のあるダム事業58億円
- 県立こども病院移転34億円
- 関西広域連合分担金
- 県議会議員の海外視察

日本共産党県議団は、予算特別委員会で知事提案の2013年度予算の組み替えを提案。ムダを削ってくらしにまわし、借金を減らすものです。

13年連続  
予算組み替えを提案

予算  
組み替え